

平成30年度 国語科「現代文B」SYLLABUS

単位数	3単位	学科・学年・学級	普通科 第2学年 特文・進文クラス
教科書	精選 現代文B 改訂版(三省堂) 現B324	副教材等	漢字トレーニング(いいずな書店) 新訂 最新国語便覧(浜島書店) 新演習現代文アチーブ2

1. 学習の到達目標

近代以降のさまざまな文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め進んで読書することによって、国語の向上を図る。多くの情報の中から必要なものを選び、それを整理して自分の考えを表現する技術を身に付け、論述力を向上させる。

2. 学習の計画

学期	月	単元名	学習事項	学習内容や活用	評価の材料等	
前 期	4	随想	「地球上の『旅人』」ヤマザキマリ	・「旅」に対する筆者の想いを読み取り、文の展開の仕方などを学ぶ。文章の展開の仕方について学ぶ。	・発問評価 ・小テスト	
		随想	「最初のペンギン」茂木健一郎	・「最初のペンギン」が持つ意義を通じて、不確かさに立ち向かい乗り越えるための方法について考える。語の言い換えについて学ぶ。	・発問評価 ・小テスト	
	5	小説	「山月記」中島敦	・原典「人虎伝」の存在に触れながら、登場人物の視点に立って考えてみる。〈語り手〉が構成する場面効果について考える。 ・人物像と描写についてグループで意見を出し合う。	・発問評価 ・グループ討論 ・感想文作成	
		小説	「月火水木金土日」川上弘美	・小説の世界観を登場人物の描かれ方、ストーリー展開の特徴 心情描写や表現技巧に注目しながら読み進めていく。	・感想文作成 【定期考査】	
	6	評論	「ミロのヴィーナス」清岡卓行	・「ミロのヴィーナス」をモチーフにした、作者の「美」に対する考え、論の展開の仕方について学ぶ。	・発問評価 ・小テスト	
		評論	「未来世代への責任」岩井克人	・「倫理」を否定するところから出発した経済学が、再び「倫理」の必要性へと到達する逆説を読み取る。	・発問評価 ・小テスト	
		現代評論を読むために 評論	「環境」 「恐怖とは何か」岸田秀	・環境問題についての考察、論文作成 ・人間は本来的に「自我」の安定を乱すものに恐怖を抱くという筆者の主張を読み取り、論の展開法を学ぶ。	・論文作成 ・発問評価 ・小テスト	
	7			↓	↓	【定期考査】
		現代詩歌	「二十億年の孤独」谷川俊太郎 他	・それぞれの作品世界の理解を深め、詩人たちの個性に触れる。 表現技巧や文学史について学ぶ。	・感想文作成	
		現代短歌	「木に花咲き」一短歌十五首	・近代から現代の代表的作者の十五首の歌を読み味わい、そこに描かれている情景や作者の心理を読み取る力を養う。文学史について学ぶ。	・感想文作成 ・文学史小テスト	
	9	評論	「メディアと歴史」	・人間が生み出した道具や技術によって、拡張された身体を持って生きているということの意味を読み取る。空欄ありのプリントに文脈から推測して語を補えるようにする。	・発問評価 ・プリント学習	
		現代評論を読むために	「メディア・情報」	・情報社会の基礎知識と抱える問題点について学び、自分の考えをまとめる。	・論文作成	
		「情報の読み方・扱い方」P376	・統計資料の読み方を学び、それをふまえた自分の考えを分かりやすく整理する。	・グループ討論 ・論文作成		
10	評論	「木の葉と光」日高敏隆	・「環境」ではなく「環世界」への注視という筆者の意図を読み取る。 日高敏隆の他の作品も紹介する。	・発問評価 【定期考査】		
	評論	「コンクリートの時代」隈研吾	・20世紀を代表する、普遍的(グローバル)な技術としてのコンクリートがもたらした功罪について理解する。具定例提示の仕方を学ぶ。	・発問評価 ・作文演習		
		グローバル社会の考察	・進む国際化と、それに伴う問題点について自分の考えをまとめる。	・論文作成		
学 期	月	単元名	学習事項	学習内容や活用	評価の材料等	
	11	小説	「蠅」横光利一	・「空虚」な宿場の風景や人物描写に注目しながら、「蠅」が持つ役割について考える。小説の主題読み取り。	・発問評価 ・感想文作成	

	小説	「レキシントンの幽霊」村上春樹	・「僕」が「レキシントンの幽霊」の体験をどのように受け止めたのかを考える。小説の主題の読み取り。	・グループ討論 ・感想文作成
		推薦図書紹介	・それぞれの生徒が自分が推薦する作品を紹介する。	・推薦文作成
12	評論	「スポーツとナショナリズム」阿部潔	・スポーツとナショナリズムに関する筆者の意見を通じて、自分の考えをまとめる。ナショナリズムの功罪について考えてみる。	・発問評価
				【定期考査】
1	評論	「戦争の不可能性」西谷修	・核兵器によって、不可能な戦争の中に「中吊り」になっている現代社会について読み取り、考えてみる。	・発問評価
	評論	「『である』ことと『する』」こと丸山真男	・「である」理論・「する」理論という筆者の問題意識をふまえ、社会事象を捉え直す観点を手に入れる。対照的な具体例を挙げて論述する方法を学ぶ。	・発問評価 ・作文演習
2	現代評論を読むために	「近代」	・ルネサンスを経たヨーロッパの近代化を、歴史的、思想的側面から整理して、知識を獲得する。	・小テスト
	小説	「こころ」夏目漱石	・叙述に即して人物の心情を読み取り、近代小説世界を読み味わう。夏目漱石について他の作品も紹介し、考察する。	・発問評価 ・感想文作成 ・文学史小テスト
3	批評のまなざし	「『選べる社会』」の難しさ松田美佐	・「選べる」社会が同時に「選ばざるを得ない」困難を伴う社会であることを理解したうえで、それに対する自分の考えを文章化する。	・発問評価 ・論文作成
	批評のまなざし	「空白」の意味	・芸術空間における空白は「不在」ではなく、その向こうに奥行きを意識させるための装置であることを理解し、それに対する自分の考えを文章化する。	・発問評価 ・論文作成
				【定期考査】

平成30年度 国語科「現代文B」SYLLABUS

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 第2学年 特理・進理クラス
教科書	精選 現代文B 改訂版(三省堂) 現B324	副教材等	漢字トレーニング(いづな書店) 新訂 最新国語便覧(花鳥書店) 新演習現代文アチーブ2

1. 学習の到達目標

近代以降のさまざまな文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め進んで読書することによって、国語の向上を図る。多くの情報の中から必要なものを選び、それを整理して自分の考えを表現する技術を身に付け、論述力を向上させる。

2. 学習の計画

学期	月	単元名	学習事項	学習内容や活用	評価の材料等	
前期	4	随想	「地球上の『旅人』」ヤマザキマリ	・「旅」に対する筆者の想いを読み取り、文の展開の仕方などを学ぶ。文章の展開の仕方について学ぶ。	・発問評価 ・小テスト	
		随想	「最初のペンギン」茂木健一郎	・「最初のペンギン」が持つ意義を通じて、不確かさに立ち向かい乗り越えるための方法について考える。語の言い換えについて学ぶ。	・発問評価 ・小テスト	
	5	小説	「山月記」中島敦	・原典「人虎伝」の存在に触れながら、登場人物の視点に立って考えてみる。〈語り手〉が構成する場面効果について考える。 ・人物像と描写についてグループで意見を出し合う。	・発問評価 ・グループ討論 ・感想文作成	
		評論	「ミロのヴィーナス」清岡卓行	・「ミロのヴィーナス」をモチーフにした、作者の「美」に対する考え、論の展開の仕方について学ぶ。	・発問評価 ・小テスト	
					【定期考査】	
	6	評論	「未来世代への責任」岩井克人	・「倫理」を否定するところから出発した経済学が、再び「倫理」の必要性へと到達する逆説を読み取る。	・発問評価 ・小テスト	
		現代評論を読むために	「環境」	・環境問題についての考察、論文作成	・論文作成	
		評論	「恐怖とは何か」岸田秀	・人間は本来的に「自我」の安定を乱すものに恐怖を抱くという筆者の主張を読み取り、論の展開法を学ぶ。	・小テスト ・論文作成	
	7			↓	↓	【定期考査】
		現代詩歌	「二十億年の孤独」谷川俊太郎 他	・それぞれの作品世界の理解を深め、詩人たちの個性に触れる。表現技巧や文学史について学ぶ。	・感想文作成	
後期	9	現代短歌	「木に花咲き」一短歌十五首	・近代から現代の代表的作者の十五首の歌を読み味わい、そこに描かれている情景や作者の心理を読み取る力を養う。文学史について学ぶ。	・感想文作成 ・文学史小テスト	
		評論	「メディアと歴史」	・人間が生み出した道具や技術によって、拡張された身体を持って生きているということの意味を読み取る。空欄ありのプリントに文脈から推測して語を補えるようにする。	・発問評価 ・プリント学習	
	現代評論を読むために	「メディア・情報」	・情報社会の基礎知識と抱える問題点について学び、自分の考えをまとめる。	・論文作成		
	10		「情報の読み方・扱い方」P376	・統計資料の読み方を学び、それをふまえた自分の考えを分かりやすく整理する。	・グループ討論 ・論文作成	
		評論	「木の葉と光」日高敏隆	・「環境」ではなく「環世界」への注視という筆者の意図を読み取る。日高敏隆の他の作品も紹介する。	・発問評価	
					【定期考査】	
評論	「コンクリートの時代」隈研吾	・20世紀を代表する、普遍的(グローバル)な技術としてのコンクリートがもたらした功罪について理解する。具定例提示の仕方を学ぶ。	・発問評価 ・作文演習			
学期	月	単元名	学習事項	学習内容や活用	評価の材料等	
11			グローバル社会の考察	・進む国際化と、それに伴う問題点について自分の考えをまとめる。	・論文作成	
		小説	「蠅」横光利一	・「空虚」な宿場の風景や人物描写に注目しながら、「蠅」が持つ役割について考える。小説の主題読み取り。	・発問評価 ・感想文作成	
		評論	「スポーツとナショナリズム」阿部潔	・スポーツとナショナリズムに関する筆者の意見を通じて、自分の考えをまとめる。ナショナリズムの功罪について考えてみる。	・発問評価	

後 期	12	評論	「戦争の不可能性」西谷修	・核兵器によって、不可能な戦争の中に「中吊り」になっている現代社会について読み取り、考えてみる。	・発問評価
					【定期考査】
	1	評論	「『である』ことと『する』」こと 丸山真男	・「である」理論・「する」理論という筆者の問題意識をふまえ、社会事象を捉え直す観点を手に入れる。対照的な具体例を挙げて論述する方法を学ぶ。	・発問評価 ・発問評価 ・作文演習
		現代評論を読むために	「近代」	・ルネサンスを経たヨーロッパの近代化を、歴史的、思想的側面から整理して、知識を獲得する。	・小テスト
	2	小説	「こころ」夏目漱石	・叙述に即して人物の心情を読み取り、近代小説世界を読み味わう。夏目漱石について他の作品も紹介し、考察する。	・発問評価 ・感想文作成 ・文学史小テスト
		批評のまなざし	「『選べる社会』」の難しさ 松田美佐	・「選べる」社会が同時に「選ばざるを得ない」困難を伴う社会であることを理解したうえで、それに対する自分の考えを文章化する。	・発問評価 ・論文作成
	3	批評のまなざし	「空白」の意味	・芸術空間における空白は「不在」ではなく、その向こうに奥行きを意識させるための装置であることを理解し、それに対する自分の考えを文章化する。	・発問評価 ・論文作成
					【定期考査】

3. 評価の観点

関心・意欲・態度	国語で理解し、表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその実力の向上を図っているか。自ら進んで考え、それを論述・発表などの手段で、発信することができるか。
話す・聞く能力	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させているか。ディベートやプレゼンテーションに積極的に参加しているか。
書く能力	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させているか。
読む能力	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させているか。
知識・理解	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けているか。発問に対する答を的確に表現できるか。

4. 評価法

授業に取り組む姿勢や授業中の発問評価で関心・意欲・態度、単元ごとの小テスト、プリント学習のまとめテストの得点を平常点として評価し、定期考査で知識・表現力・理解度の評価を行う。これらを合計した得点を評定とするが、平常点の割合は全体の二割を上限とする。

5. 担当者からのメッセージ

第一に文章から新しい知識を吸収し、より広く、深く考えるための力を養うことを目指す。次に筆者の考えや気持ちを読み取り、共感したり、時には批判したりする力とそれを表現する方法を身に付けることを目指したい。